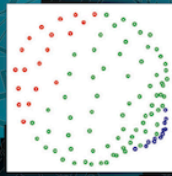
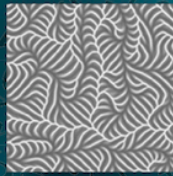
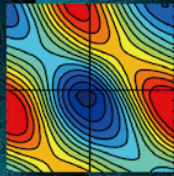


M A T H E M A T I C A L B I O L O G Y



「細胞や組織の運動、シグナル活性や遺伝子発現の変化など、自分でとった定量データから特徴量を抽出したい」
「解析結果をモデル化に反映させたい」けど、数理生物学の専門家と議論を深める“統計解析”の基礎知識が不足している・・・

そんな実験研究者のための

数理生物学サマーレクチャーコース 第2回

データ解析入門

2013年7月29日(月)~31日(水)
10:00~17:00(予定)

理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター
C棟1階オーデトリウム
ポータルライナー「医療センター」駅下車すぐ

対 象 実験研究で論文をまとめた経験者(あるいは同等の能力を有する人)

プログラム概要 基礎的な概念の導入レクチャーから実際の研究例を用いた各論の理解まで下記の要領でカバーする3日間です。

- ・データ解析に必要な確率・統計の基礎
- ・確率的に状態変化するシステム
- ・時系列データの解析
- ・バイオインフォマティクスによる遺伝子発現解析
- ・ベイズ統計の応用

さまざまな討論の場を用意して、理解をさらに深め、仲間作りも促進します。

講 師 石原 秀至(東京大学)、柴田 達夫(理研CDB)、瀬々 潤(東京工業大学)、高木 拓明(奈良県立医科大学)、森下 喜弘(理研CDB)

コーディネーター 笹井 芳樹(理研CDB)

定員 100名
(事前登録要)
参加費 6,000円

お申し込み

下記ウェブサイトをご参照の上、オンラインにてご登録ください。
講演会場の座席には限りがあり、定員に達し次第受付を終了いたしますので、あらかじめご了承ください。

<http://www.cdb.riken.jp/math2013/>

お問い合わせ

多細胞動態イニシアティブ
(理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター 学術集会担当)
Tel: 078-306-3010 E-mail: math2013@cdb.riken.jp

主 催 多細胞動態イニシアティブ事務局

共 催 文部科学省 新学術領域研究「細胞機能と分子活性の多次元蛍光生体イメージング」「哺乳類初期発生の細胞コミュニティ」「動く細胞と場のクロストークによる秩序の生成」「ミクロからマクロへ階層を超える秩序形成のロジック」、文部科学省 生命動態システム科学推進拠点事業「多次元定量イメージングに基づく数理モデルを用いた動的生命システムの革新的研究体系の開発・教育拠点」(京都大学)、理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター/生命システム研究センター